

仁淀病院からのお知らせ



胃がんリスク検診(ABC検診)について

健診部 小原 秀一

胃がんリスク検診(ABC検診)は、血清抗体でピロリ菌感染の有無を、血清ペプシノゲン値で萎縮性胃炎を診断し、両者の値で将来胃がんになりやすいかどうかをA、B、C、Dの4段階に層別化する検診です。人間ドックのオプションとして受けることができます。検査申込は事前、受診当日どちらでも結構です。

■血液検査の結果の見方

区分	ペプシノゲン	ピロリ菌		胃がん発見のための内視鏡検査
A群	正常(-)	陰性(-)	健康な胃	*注
B群	正常(-)	陽性(+)	少し弱った胃	3年に一度はお勧めします
C群	異常(+)	陽性(+)	かなり弱った胃	2年に一度はお勧めします
D群	異常(+)	陰性(-)	かなり弱った胃	1年に一度はお勧めします

* A群であっても、上部消化管(胃)検査は食道なども含みますので定期的に受診しましょう。

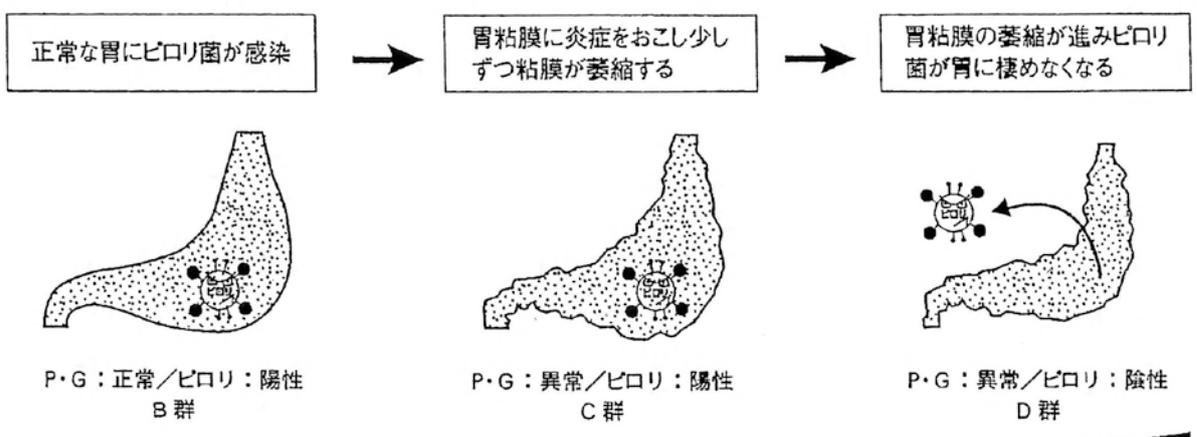
■ヘリコバクター・ピロリ菌とは…

ピロリ菌は胃の粘膜に好んで住みつき、胃・十二指腸潰瘍や萎縮性胃炎の原因菌と考えられています。さらに胃粘膜の萎縮は、胃がん発生の下地となっている可能性が指摘されています。厚生労働省研究班は、ピロリ菌に感染したことがある人の胃がんのリスクは、感染したことがない人の約10倍と報告しております。

■ペプシノゲン(P・G)とは…

P・Gは、胃粘膜で産生され消化液の元となるもので、その一部が血液に流れ出します。血中濃度を測ることで、胃粘膜でのP・G産生程度が分かります。血中P・G量が少ない方は胃の粘膜が萎縮していることを示します。

■胃粘膜にピロリ菌が感染すると…



胃がんのリスク

■ピロリ菌の除菌について

ピロリ菌除菌と胃がんの予防について、以下のことがいえます。

- ① 胃がんの発症が30%以下に低下する可能性
- ② 若年者のほうがより有効性が高い
- ③ 高齢者でも老化を阻止するのに有用
- ④ 胃がんの早期発見に有用(胃粘膜がきれいになり、がんが発見しやすくなる。)

B群、C群の方に、ピロリ菌の除菌をお勧めします。ただ、ピロリ菌の除菌をされた方は、ピロリ菌がマイナスに変わってもA群とはなりません。胃がんのリスクは続きますので、定期的な上部内視鏡検査が必要です。